

# 歌手の千鶴伽さん迎え 福祉コンサート

釧路建親会

釧路地区の建設業者でつくる釧路建親会（山根浩会長）が主催する福祉コンサートが二十五日、西浜町のセラピーこざくら（後藤義治施設長）で開かれた。同会によるコンサートは、市内では初の開催。シンガー・ソングライター千鶴伽（ちづか）さんが童謡メドレーなど九曲を披露。約七十人の施設利用者は、一緒に歌を口ずさんだりしながら楽しいひと時を過ごしていた。



このコンサートは、同会が社会奉仕活動の一環として、各地の老人介護施設などを訪問し、歌でお年寄りにくつろいでもらおうと企画しているもの。二年目となる今年は、根室のほか、中標津町、別海町の老人介護施設でコンサートを開く。いずれも初めての開催

歌でお年寄りをいやした釧路建親会の福祉コンサート.....  
このコンサートは、同会が社会奉仕活動の一環として、各地の老人介護施設などを訪問し、歌でお年寄りにくつろいでもらおうと企画しているもの。二年目となる今年は、根室のほか、中標津町、別海町の老人介護施設でコンサートを開く。いずれも初めての開催

山根会長はあいさつで、会の趣旨や活動を紹介しながら「コンサートを通してお年寄りの皆さんに元気になっていただきたい」と話した。  
今回は五年ぶりの来根という千鶴伽さんは、東京を中心に活動するプロの歌手。平成五年のソロデビュー以来、「なつかしい唄と旅話コンサート」と題して全国の老人施設などを回り、「全国旅人シンガーソングライター」を自称して活動を続けている。  
コンサート会場となったセラピーこざくらの一階ロビーには、入所者、通所利用者合わせて約七十人が詰め掛けた。  
ハーモニカの音色が温かい「月の砂漠」で幕を開け、昔懐かしい童謡メドレーや「知床旅情」など、おなじみの曲が続いた。「東京ア

11-10-26 根室新聞

## 心に響く美しい歌声

管内で福祉コンサート

【根室、別海、中標津】東京のシンガーソングライター千鶴伽さん（右）が「知床旅情」「与作」などを披露すると、お年寄りたちは手拍子をたたきながら聞き入った。最後は「アンコール」と大若手経営者らでつくる「釧路建親会」（山根浩会長、会員24社）が披露された。その大の主、小善芳雄さん（73）は「何歌ってもうまかったよ」と笑顔だった。26日は別海と中標津の特別養護老人ホームで開催。うち別海の「清



翠園では約50人が千鶴伽さんの童謡や歌謡曲に聴き入り、お年寄

りたちは歌詞を口ずさみながら楽しんだ。同園の男性（89）は「普段、生の歌声を聞く機会が少ないので楽しかった」と話していた。千鶴伽さんは同日、中標津りんどう園も訪れた。（栗田直樹、長谷川裕紀）

11-10-27 北海道新聞

# お年寄りに歌のプレゼント

## 釧路建親会が福祉コンサート シンガーソングライター千鶴伽招き



昔懐かしい歌の数々に  
癒やされた

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

別海町内の特養清翠園では、入居者や介護職員ら計60人を前に「里の秋」や「月の砂漠」など、懐かしい童謡や唱歌、新曲の「とかしき島の唄」などを語り掛けるように歌い上げた。

やさしい歌声で、もともと元気になって。釧路建親会（山根浩会長）は、東京在住のシンガーソングライター千鶴伽（ちづか）の福祉コンサートを25日に根室市内、26日に中標津と別海両町内の特別養護老人ホームでそれぞれ開いた。

一昨年に親会の釧路建設業協会が始めた地域貢献活動を昨年から引き継いで実施している。千鶴伽は「なつかしい唄と旅話コンサート」を全国展開。日本製紙釧路工場のイメー

お年寄りたちは、心に響く歌声に手拍子を打ったり、一緒に口ずさんだりして、楽しいひとときを過ごした。

根室管内の最高齢107歳の齊藤フサヨさんは「体調が良くなりました」と喜んでいった。  
(根室)

## 福祉施設でコンサート開催 懐かしい歌を口ずさみ

釧路建親会が根室市内3カ所で



【根室発】釧路建親会（会長・山根浩）山根浩山根土建株式会社。場面も見られた。シンガー・ソングライターは二十五日と二十六日

の二日間、根室管内3カ所の福祉施設でシンガー・ソングライター千鶴伽（ちづか）さんによるコンサートを開催した。写真は、各所では高齢者が昔懐かしい歌に聞き入る様子が見られた。

ターの千鶴伽さんは福岡県出身。東京に拠点を置き、全国を旅しながら老人福祉施設などで「なつかしい唄と旅話コンサート」と題した活動を展開している。建親会主催の千鶴伽さんによるコンサートは昨年に続き二回目。二十五日は根室市のセラピーこさくら、二十六日は中標津町のりんどう園、別海町の清翠園で行った。

りんどう園でのコンサート開会前にあいさつした山根会長は、建親会や建設業界にふれ、「建設業には地域の活性化が大原則としてある」と果たす役割を説明。「限られた時間だが、千鶴伽さんの歌を聴いて元気をもたらしましょう」と呼びかけた。

続いて、千鶴伽さんが登場。オープニングでは、ハイモニカを吹きながら「里の秋」を歌い上げた。また、「七つの子」「海」「荒城の月」「この道」の四曲メドレーや「月の砂漠」「浜辺の海」なども披露した。

入所している高齢者は、伸びのある歌声に聞き入ったほか、時折歌詞を口ずさんだり、リズムをとりながら手拍子を打っていた。